



2006.7.15

第23号

発行 四国ゴルフ連盟 〒790-0921 愛媛県松山市福音寺町55-1 電話 089-990-3260 FAX 089-990-3261

第26回四国アマ選手権

大会初、高校生が優勝 17歳片岡(蘭)プレーオフで



最年少優勝の記録を更新した高校生の片岡選手

第26回四国アマ選手権(6月7日〜10日、Kochi黒潮カントリークラブ、7225ヤード、パー72、192人参加、予選カットライン160S) 第2ラウンドの豪雨による時中断を除けば4日間、コンディションに恵まれ、見ごたえあるハイレベルの熱戦が展開された。

片岡大育選手(詫間)が最終日、ベテラン山中陽生選手(土佐)とのプレーオフを制し、通算1アンダー287で大会史上初の高校生チャンピオンとなり、最年少Vの記録を更新した。

初日、片岡選手は5アンダーの好スコアで首位に立ったあとも安定したプレーで2位に4打差をつけ3日目を終えた。このまま逃げ切るかに見えた最終日、好調だったパットが乱れ、

通算1アンダーで終了。先にホールアウトしていた山中選手に並ばれた。プレーオフ1ホール目(10番ロング)、ともに3オン。片岡選手がパーセーブしたのに対し山中選手は痛恨の3パットで決着した。

山中選手は今年55歳、過去3回の四国アマ優勝の実力者。今大会は初日、26位タイと大きく出遅れたが最終日、激しく追い上げ67のベストスコア。14年ぶりのVを逸したものの8打差を一気に縮めた猛追ぶりは賞賛されよう。

また、最後まで首位に肉薄した若手や中堅、とりわけ上位に食い込んだ50代選手の健闘に拍手をおくりたい。最終成績次のとおり。

①片岡大育(詫間)287②山中陽生(土佐)同③大藤有理(グリーンフィール)288④金子景(阿南)290、崎山俊紀(今治)同⑤松山幹男(北条)291⑥三木一外(こん

女子アマは木村(SGU)V 10代選手が上位独占

第26回四国女子アマ選手権(5月18・19日、松山ゴルフ倶楽部、6070ヤード、パー72、73人参加) 今年の5月は例年より雨が多く2日間とも雨中の競技となった。加えて会場の松山GCは来年開場50周年、名匠上田治設計の難コースで

選手たちを悩ませた。初日、トップタイにつけた18歳木村麻希選手(SGU・専修大1年)が最終日も手堅くイーブンパーでまとめ通算3オーバー147で念願の初優勝を手にした。

上位10選手のうち7人までが10代と、前年同様の世代交代が際だつ中で、昨年度の覇者横山倫子高



初優勝でさらなる飛躍への自信をつけた木村選手

松グラント(ベテラン)二宮薫(今治)の両選手が7位タイで日本女子アマ選

手権の出場切符を確保したのは見事だった。最終成績次のとおり。

①木村麻希(SGU)147②丑田恵美(松山ロイヤル)③全スラ(スカイ)152、前田陽美(詫間)同⑤川原仁美(スカイ)154、坂本優里(エール松山)同⑦横山倫子(高松グラント)156、二宮薫(今治)⑨森岡紋加(スカイ)159

以上日本女子アマ選手権へ 木村麻希選手の話 初優勝できてうれしい。パターが悪かったが我慢のプレーに徹した。ピンをパッドに狙って

攻めいったのが良かったと思う。 第48回日本女子アマ選手権(6月20日〜24日、鷹之台CC) 四国からは9人が出場 横山倫子選手が予選を通過したがベスト32に終わった。

なお、二宮薫選手が日本ゴルフ協会から日本女子アマ大会への連続15回出場選手として表彰された。 同選手はこれまで四国女子アマ選手権大会で6回優勝したほか日本女子アマでも優勝している実力者。

夏休みはコースで ゴルフを体験しよう 愛媛練習場協がフェス

愛媛ゴルフ練習場協議会は8月10日に松山GCで小中学生を対象にした「愛媛ジュニアゴルフフェスティバル」(四国ゴルフ連盟など後援を

開く。 ジニア育成底辺拡大のための初試み、ラウンド経験の有無に応じてチームを分け、マナーやルール指導を受けたあと9ホールプレーを楽し

今年も接戦の期待 クラブ対抗8月4日 四国ゴルフ連盟の平成十八年度主催競技は中盤に入り、7月末のジュニア選手権、8月4日のクラブ対抗決勝、9月のシニア3競技へと続く。

山路選手2度目のV 春のグラントシニア会 第49回四国グラントシニア会春季競技(5月25日、サンセットヒルズCC参加79名) 晴天のもと、元気いっぴいのプレーを展開、山路昭さん(写真)が2度目の優勝を果たした。



四国ゴルフ連盟ジュニア委員会は、8月22日に新居浜CCで開催する「第1回四国小学生ゴルフ大会」の競技要項を決めた。

6000ヤード同女子(同5500ヤード)のストロークプレーとする。

今年も接戦の期待 クラブ対抗8月4日 四国ゴルフ連盟の平成十八年度主催競技は中盤に入り、7月末のジュニア選手権、8月4日のクラブ対抗決勝、9月のシニア3競技へと続く。

山路選手は同32位に終わった。 ネット66②(月)山田孝正(北条)81・66③岡林大二郎(錦山)75・68④西川亨(土佐)81・68⑤松木昭三郎(竜の宮)83・69

なお、今年の秋季競技(11月17日松山GC)では、同会が発足した昭和57年から春秋50回目を記念大会となるため盛大に開催の予定。多数の参加を期待している。

市長さんの賞品 市長さんの賞品という面白い話があります。アイランドの片田舎にあるバリーナという町の9ホールのコースでの出来事です。

切つて集まりました。競技が終わり、その結果等から三等まで決まったのですが、さてその17個のボールをどう分けたいのか分からず喧々諤々の言い争いをしたのでした。

その条件とは等がボールの2分の1、二等にはボールの3分の1、三等に6分の1を与えること。 当日になつてお百姓さんたちは市長が賞品を出すというので張り

皆さん方もこれをどう処理しますか考えて下さい。その時傍らで観戦しながらウイスキーを飲んでいた人の紳士が皆さん、お困りのようですねとポケットからボールを1個取り出し18個にしたので

9+6+2=17。 皆さん方もこれをどう処理しますか考えて下さい。その時傍らで観戦しながらウイスキーを飲んでいた人の紳士が皆さん、お困りのようですねとポケットからボールを1個取り出し18個にしたので

皆さん方もこれをどう処理しますか考えて下さい。その時傍らで観戦しながらウイスキーを飲んでいた人の紳士が皆さん、お困りのようですねとポケットからボールを1個取り出し18個にしたので

# おらが倶楽部でござる

## 其の二十四 高南カントリークラブ

高知市の南西75キロ、当倶楽部は日本最後の清流四万十川の中流域に広がる標高230メートルの高南台地の一角にあります。コースからは旧窪川町(3月に隣接町村と合併、四万十町)の町並みや広々とした田園が見渡せます。

自然の地形を生かし、「じんまり」とまとまった山岳コース。名だたるチャンピオンコースには及ばないが、当倶楽部誕生の裏にはゴルフをこゝとん愛した二人の「いごつそ男」の孤軍奮闘の物語があるのです。

**ゴルフに魅せられて**  
その人の名は佐竹周吾前社長

今年5月死去享年84歳。  
前社長とゴルフの出会いが昭和30年代、第1次ゴルフブームの頃で

自前の練習場で仲間と汗を流したある日、近くにミニコースでもあればええのう「どうせなら本格

初のコースが開かれました。望郷の念にかられた居留英人たちのゴルフを巡る会話がきっかけだったと伝えられています。

ともあれ前社長は知人、友人らに相談を持ちかけましたが、「こんな小さな町にゴルフ場なんて...」確かに無謀と思われました。造成には巨額の資金が必要だし、ゴルフ狂を自認していても設計や土木工事の経験は皆無。あるのは自分のゴルフ

設計をシブルドーザーも運転しました。

空拳の苦勞が実って昭和48年秋に待望のオープンにこぎつけ、平成6年には開場20周年の記念コンペを開きました。

この時参加して下さった四国ゴルフ連盟の手島皓一常務理事が後に神戸のスポーツ紙のコラムで当倶楽部のことを「個人が手塩に掛けて造った本当の手作りのこんなコースは全国でもここだけ...」一人の男がゴルフを愛する執念で造り上げた大事な価値あるコース...と紹介され、前社長が感激していた姿が思い出されます。

我が倶楽部も今年で33歳。開場以来、改修改修を重ねグリーンもベント化したしました。今後はプレーヤーの皆様にご満足いただけるよう、前社長の熱い志を受け継ぎ一層の努力を続ける所存です。  
(久保紳一 高南カントリークラブ支配人)



高南カントリークラブ  
〒786-0047  
高知県高岡郡四万十町窪川八千数310  
TEL: 0880-24-0711  
FAX: 0880-24-1354

# 手づくりで いごつそ男の執念実る マイコース

付き合いで始めたゴルフにたちまちのめり込むことになりました。  
自宅庭に3打席の練習場を作り  
ました。ゴルフ場通いも年間150回に及び「ゴルフ狂」を自認していま

コースが欲しいのう。こんな会話が前社長の心にコース造りの夢を植え付けたのでしょうか。  
105年前、神戸六甲に日本最

場を持ちたいという夢と情熱だけ。しかし、反対が多いほど奮起するのが、いごつそ男の本領。土地の買収を終えて昭和47年に着工、自らコース

「設計図は前社長の頭の中にあつたのでしよう。だから出たとこ勝負の感じだった」とは、当時工事に参加した国広幸グリーンキーパーの回想です。また大型の両台風風に襲われた時は、前社長も人柱となって土石流を防いだとも。こうした徒手

設計をシブルドーザーも運転しました。

空拳の苦勞が実って昭和48年秋に待望のオープンにこぎつけ、平成6年には開場20周年の記念コンペを開きました。

この時参加して下さった四国ゴルフ連盟の手島皓一常務理事が後に神戸のスポーツ紙のコラムで当倶楽部のことを「個人が手塩に掛けて造った本当の手作りのこんなコースは全国でもここだけ...」一人の男がゴルフを愛する執念で造り上げた大事な価値あるコース...と紹介され、前社長が感激していた姿が思い出されます。

## お四国随想

### 手島皓一

明治維新まで神社と寺は一緒の所が多かった。維新とともに天皇家が神道だから神社と寺院を分離すること求め、多くの寺が廃寺となった。

明治政府の失政のつは、この廃仏毀釈(きしゃく)と城の破壊である。そのためたくさん歴史的な建造物が失われた。

なぜ神仏を分離するのか、両者にどんな違いがあるのかわからない。人は死ぬと仏になり、ある人は神として祭られる。結局は同じものではないのか。それをなぜ、またどんな基準で分離したのか疑問がわく。

八十八カ所を廻ると沢山の寺が廃仏毀釈で廃寺になり、壊され打ち捨てられていた。まず徳島県をみると、十三番大日寺は阿波の総鎮守として宮神社が造られ、別当寺となり後分離された。

高知県では二十七番神峰寺も分

二年に再興されたが大正二年まで無住職。中村の家の庇護を受け土佐最大の金剛福寺も同じ運命で再興の延光寺も同様の道をたどった。愛媛県に入ると明石寺も神仏習



## 廃仏毀釈

に戻る。宝寿寺も同じ、前神寺も石鐘社の別当寺が分離され再興。さて、香川県に入ると、まず六十八番神恵院がある。昔は琴弾神社と一緒であったが分離令で別れ、天皇寺

今シーズンの幕開けを飾る四国女子アマ選手権で懐かしい顔に出会いました。第3回(昭和58年)の同大会優勝者のKさんです。数年前、病気でクラブが握れなくなったと人が聞いていたので驚きました。まだ本調子ではないのか、スコアは悪かったようですが、閉会まで残って旧知の人たちと楽しげに談笑す

好きな料理を自由に  
木桶に並ぶ夏向き的小鉢や数種類のサラダ、揚げたての天ぷらや焼き鳥など常時20種以上の和洋折衷メニューが並ぶ。讃岐うどんも地元ならではの冷たい、ぶっかけで食欲をそそる。県外からのゴルファーに人気だが、デザートからコーヒーまで用意されたランチバイキングをお目当てに訪れる地元女性客も多い。クラブハウス階のレストラン「ルッチョレ」で。お一人一四七〇円。



アウト5番はバックからだど600ヤードを越すロングホール。左に見える木は開場時、苗木だった

二年に再興されたが大正二年まで無住職。中村の家の庇護を受け土佐最大の金剛福寺も同じ運命で再興の延光寺も同様の道をたどった。愛媛県に入ると明石寺も神仏習

に戻る。宝寿寺も同じ、前神寺も石鐘社の別当寺が分離され再興。さて、香川県に入ると、まず六十八番神恵院がある。昔は琴弾神社と一緒であったが分離令で別れ、天皇寺

今シーズンの幕開けを飾る四国女子アマ選手権で懐かしい顔に出会いました。第3回(昭和58年)の同大会優勝者のKさんです。数年前、病気でクラブが握れなくなったと人が聞いていたので驚きました。まだ本調子ではないのか、スコアは悪かったようですが、閉会まで残って旧知の人たちと楽しげに談笑す

好きな料理を自由に  
木桶に並ぶ夏向き的小鉢や数種類のサラダ、揚げたての天ぷらや焼き鳥など常時20種以上の和洋折衷メニューが並ぶ。讃岐うどんも地元ならではの冷たい、ぶっかけで食欲をそそる。県外からのゴルファーに人気だが、デザートからコーヒーまで用意されたランチバイキングをお目当てに訪れる地元女性客も多い。クラブハウス階のレストラン「ルッチョレ」で。お一人一四七〇円。

好きな料理を自由に  
木桶に並ぶ夏向き的小鉢や数種類のサラダ、揚げたての天ぷらや焼き鳥など常時20種以上の和洋折衷メニューが並ぶ。讃岐うどんも地元ならではの冷たい、ぶっかけで食欲をそそる。県外からのゴルファーに人気だが、デザートからコーヒーまで用意されたランチバイキングをお目当てに訪れる地元女性客も多い。クラブハウス階のレストラン「ルッチョレ」で。お一人一四七〇円。

好きな料理を自由に  
木桶に並ぶ夏向き的小鉢や数種類のサラダ、揚げたての天ぷらや焼き鳥など常時20種以上の和洋折衷メニューが並ぶ。讃岐うどんも地元ならではの冷たい、ぶっかけで食欲をそそる。県外からのゴルファーに人気だが、デザートからコーヒーまで用意されたランチバイキングをお目当てに訪れる地元女性客も多い。クラブハウス階のレストラン「ルッチョレ」で。お一人一四七〇円。



石焼海鮮ビビンバ (詫間CC)

おなじみ代表的な韓国料理の一つ。石製の器にご飯、その上にいろいろな具を乗せて加熱、調味料をかけて食べる混ぜご飯である。具材が肉中心なのが韓国風だが、これを海の幸にしたのがみそ。何しろ目の前が海の当倶楽部だけに刺身用の白身魚や海老、かに、あなご、ほたてなどの具材をたっぷり。それに野菜、キムチを加え調味料は辛さを抑えたものに。「暑いときには温かい料理で」という内山峰夫料理長の年間通しのおすすすめメニューである。クラーのよく効いたレストランで汗をふきふき食べるビビンバも乙なものの。一人前一一〇〇円。



ゴルフバイキングランチ (グランディ鳴門CC)

編集を終えて  
今シーズンの幕開けを飾る四国女子アマ選手権で懐かしい顔に出会いました。第3回(昭和58年)の同大会優勝者のKさんです。数年前、病気でクラブが握れなくなったと人が聞いていたので驚きました。まだ本調子ではないのか、スコアは悪かったようですが、閉会まで残って旧知の人たちと楽しげに談笑す